

ご利用者・ご家族の皆様  
関係機関・事業所の皆様

令和2年11月16日

川崎大師訪問看護ステーション  
療養通所介護まこと  
管理者 島田 珠美

## 川崎大師訪問看護ステーション職員の新型コロナウイルス感染の 発生状況に関するご報告と今後の対応について

令和2年11月13日、川崎大師訪問看護ステーション看護師1名が新型コロナウイルス（COVID-19）に感染していることが判明いたしました。

感染発生の状況は以下の通りとなります。

- 11月6日：当該職員がご利用者様宅に訪問し入浴介助を行う
- 11月11日：6日に訪問したご利用者様が新型コロナウイルスに感染していた旨、連絡が入る
- 11月12日：該当職員に自宅待機を指示し、医療機関にて新型コロナウイルスPCR検査実施
- 11月13日：19時過ぎに該当職員が新型コロナウイルス陽性となった旨知らせが入る
- 11月14日：保健所に報告、保健所の指示を待つこととなった  
当該職員と同じ川崎分室勤務の職員は感染対策を取っていたが念のため全員に、また、他の利用者宅で入浴介助を一緒に行った職員も一緒に医療機関にてPCR検査実施。当該職員が長時間対応していたご利用者様等もご本人の希望があり医療機関にてPCR検査実施となる
- 11月15日：保健所に連絡をするも担当職員不在にて月曜日に再度連絡することとなった
- 11月16日：保健所より連絡があり、同じ事務所を利用している職員に関しては感染対策がなされているため濃厚接触者はいないと判定され、PCR検査の結果も全ての職員について陰性の判定となり、今後は通常通りの勤務が可能となった  
保健所の指導により、当該職員がマスクを常に着用していたとしても、本人がマスクを着用しておらず、15分以上1メートル以内で接触したご利用者様7名が濃厚接触者と認定され、順次検査が行われる予定で経過観察となっている。  
当該職員は11月22日まで自宅待機。本人に発熱等の症状はない。

川崎大師訪問看護ステーションでは、本部、サテライト2カ所（川崎分室、大師分室）に分かれて業務を行い、新型コロナウイルス感染拡大への対応として各事業所間の往来を避ける形で事業を展開してまいりました。他の事業所職員は、当該職員とは、ほとんど接触がありません。

私たち川崎大師訪問看護ステーションでは、今後につきましても、ご利用者様、ご家族様の安全を第一に感染拡大防止に努めてまいります。皆様方には多大なるご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げますとともに、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ先 川崎大師訪問看護ステーション TEL044-266-2180  
管理者 島田珠美  
統括主任 古川眞里